

## 7. 都市基盤整備部門

### やさしさと安心のまち

【ありたい姿】 13. 市民が安心して暮らせる環境ができている

- ・ 機能的な生活基盤等の整備
- ・ 良好なまちなみの形成
- ・ 住環境の整備
- ・ 持続可能な上下水道
- ・ 情報化の推進

## 基本構想

【理念】 やさしさと安心のまち

【ありたい姿】 13. 市民が安心して暮らせる環境ができている

## 基本計画

### 政策名 機能的な生活基盤等の整備

#### 現 状

- ・ 国道及び県道は、各地域を結び観光並びに経済の面で重要な役割を果たしています。
- ・ 市道は、幹線道路と集落を結ぶ重要な生活道路として利用されています。
- ・ 天草全域の市道に橋梁 1,119、トンネル 17 が存在し集落を結ぶ重要な施設となっています。
- ・ 市民交通の安全性向上のため、交通安全施設の整備や補修を実施しています。
- ・ 利便性・安全性控除のため、生活道路等の改良や維持補修を実施しています。
- ・ 一部の市道については、市道清掃ボランティア支援事業で市民の自発的な活動により、安全で快適な道路環境を整備しています。
- ・ 本渡道路約 1.3 kmが令和 4 年度末の開通予定となっています。
- ・ 国施工区間約 32 kmのうち 24 kmで事業中です。  
(熊本宇土道路 3.8 km+宇土道路 6.7 km+宇土三角道路 13.5 km)
- ・ 県施工区間約 38 kmのうち 4.7 kmで事業中です。  
(大矢野道路約 3.4 km+本渡道路約 1.3 km)
- ・ 本渡道路終点(上島側)から上津浦インターまでのルートが現時点では未定となっています。
- ・ 市管理河川は 637 河川、延長約 608 kmあり、維持管理や改修工事などは、集落地やその周辺部を優先的に実施しています。
- ・ 市管理港湾は 20 港あり、主に水陸交通の物流・人流の連絡拠点として利用されています。
- ・ 海岸保全施設は、高潮・波浪等の災害から人命等を守る施設となっています。

#### 課 題

- ・ 国道及び県道の整備、生活拠点間主要市道の改良や重要構造物（橋梁・トンネル等）の補修については、市民の要望や期待度は高く、長寿命化計画を基に整備を進めていますが十分な対応ができていない状況です。
- ・ 交通安全施設は、経年劣化による老朽施設が多く、計画的な整備更新が課題となっています。
- ・ 生活道路等の改良や維持補修については、市民の要望や期待度は高いものの、一度に実施できないため、十分な事業進捗が図られていない状況です。
- ・ 市道清掃ボランティア支援事業では、人口の減少や高齢化によって、今後取組団体の減少が懸念されます。
- ・ 天草地域は熊本都市圏と県内主要都市を 90 分で結ぶ構想では、県内唯一の未達成地域となっており、事業化された熊本天草幹線道路計画全線(約 70 km)の整備を加速化するためには、国・県への整備要望を継続する必要があります。
- ・ 天草地域は交通幹線ルートが限られており、緊急輸送機能を有した代替道路の確保が

求められています。

- ・ 膨大な河川延長のため、豪雨時には道路への冠水により、交通機能が阻害される場合があります。
- ・ 港湾施設長寿命化計画及び定期点検診断により、港湾 328 施設のうち A 判定が 29 施設、港湾海岸保全施設 230 施設のうち A 判定が 42 施設となっています。今後は、この計画を基に点検・修繕等の維持管理に関する方針を定め、ライフサイクルコストの縮減を図る必要があります。

## 施策計画

### 1. 陸上交通基盤の充実

- ・ 国県道の整備については、予算の確保に向けた要望活動の強化を図ると共に、交付金事業における市道改良については、予算の効率的な執行により事業進捗を図ります。
- ・ 重要構造物の補修については、長寿命化計画に基づき、計画的な事業進捗を図ります。
- ・ 生活道路等については、優先順位など考慮し、効率的に事業を実施します。
- ・ ボランティア事業は、事務の簡素化や基準見直しの検討を行い、取り組みやすい制度の構築を目指します。
- ・ 熊本天草幹線道路の早期の全線開通に向け、積極的な要望活動を重ねていくとともに、地域の機運を高めるためのアピール活動に取り組みます。

|      | 指標名                                 | 調査方法   |
|------|-------------------------------------|--------|
| 成果指標 | 効率的な生活道路等の整備改良を行い<br>利便性や安全性が向上した割合 | 市道改良実績 |

### 2. 河川機能の充実

- ・ 豪雨時の氾濫防止対策のため、準用河川・普通河川において優先順位を付けて堆積土砂等の撤去を実施します。

|      | 指標名            | 調査方法 |
|------|----------------|------|
| 成果指標 | 河川の機能が保たれている割合 | 独自調査 |

### 3. 港湾施設の充実

- ・ 施設の安全性・利便性向上のため、長寿命化計画に基づき、優先順位を明確にし、事業に取り組みます。

|      | 指標名              | 調査方法 |
|------|------------------|------|
| 成果指標 | 港湾施設が機能を保持している割合 | 独自調査 |



## 基本構想

【理念】 やさしさと安心のまち

【ありたい姿】 13. 市民が安心して暮らせる環境ができている

## 基本計画

**政策名** 良好なまちなみの形成

### 現状

- ・ 都市計画マスタープラン、天草市景観計画、その他の関連計画と併せた効果的な都市施設の整備を行っています。
- ・ 土地利用の規制、誘導や多様な地域資源等を有効活用した良好なまちなみの形成に取り組んでいます。
- ・ 公園施設の老朽化及び維持管理を行っています。
- ・ 都市計画道路の整備を行っています。
- ・ 本市の海の玄関口である本渡港・牛深港周辺の環境整備に取り組んでいます。

### 課題

- ・ 秩序ある適正な土地利用が必要です。
- ・ 都市計画道路、公園など都市施設を中心とした地域の活性化が必要です。
- ・ 天草市景観計画の啓発による景観意識の高揚が必要です。
- ・ 豊かな自然、歴史、文化など天草の特性を生かした、良好なまちなみ景観の創出が必要です。
- ・ 花いっぱい運動の推進によるまちなみの景観形成が必要です。
- ・ 地域協働による公園管理が必要です。
- ・ 都市計画道路整備事業の事業推進が必要です。
- ・ 本渡港、牛深港の周辺整備にあたっては、これからの在るべき姿を明確化し、計画的な事業展開が必要です。

### 施策計画

#### 1. まちなみの形成

- ・ 都市の骨格をなす都市計画道路の効果的な整備を促進します。
- ・ 土地利用の規制や誘導により、地域に適した取り組みを目指します。
- ・ 良好な景観形成及び住民意識の高揚を図ります。
- ・ 公園施設長寿命化計画に基づいた改修を行うことにより、安全性や利便性の向上を図ります。
- ・ 地域協働による公園施設の維持管理に今後も取り組みます。
- ・ 都市計画道路整備事業を完成させることにより、暮らしやすい安心安全なまちづくりを図ります。
- ・ 新たな動きの発信点となる施設を目指し、周辺環境を含めた本渡港・牛深港の整備に取り組めます。

|      | 指標名                           | 調査方法    |
|------|-------------------------------|---------|
| 成果指標 | 良好なまちなみの景観が形成されていると感じている市民の割合 | 市政アンケート |

#### 関連する SDGs ゴールマーク



基本構想

【理念】 やさしさと安心のまち

【ありたい姿】 13. 市民が安心して暮らせる環境ができている

基本計画

政策名 住環境の整備

現 状

- ・ 天草市公営住宅等長寿命化計画に基づいて、長寿命化、安全性の確保、居住性の向上のための改修事業を実施しています。
- ・ 耐用年数が経過し老朽化が著しい住宅については、入居者の退去に伴い用途廃止（解体）、譲渡を行っています。
- ・ 持家の高齢化率が高いことから、自宅の老朽に伴い市営住宅への転居者が増えています。
- ・ 市営住宅の高齢者、子育て世帯等対応への改修整備が遅れています。
- ・ 平成 25 年度調査で 3, 220 棟の空き家が報告されています。
- ・ 上記調査で 645 棟が危険家屋と判断されています。
- ・ 熊本地震をはじめ、大規模地震が頻発しています。
- ・ 昭和 56 年 5 月以前に建てられた耐震性が不明の建物が多数あります。

課 題

- ・ 昭和 55 年までの高度成長期に核家族、子育て勤労者世帯のために建設された市営住宅が 835 戸と全体の 46% を占めており、老朽化が進み耐用年数を経過した市営住宅が 481 戸と全体の 26. 5% であることから、計画的なストック改修事業、用途廃止、建替えを行う必要性があります。
- ・ 地区によって人口減少、世帯数減少が顕著で市営住宅の必要性を考慮する必要があります。
- ・ 高齢者、子育て世帯に対応した改修事業への対策が必要です。
- ・ 年間 100 件程度の管理不適格家屋の相談を近隣住民より受けています。
- ・ 大規模地震の発生に備え、大規模盛土造成地では耐震性を早急に検証し、被害軽減を図る必要があります。
- ・ 耐震性の有無を診断する必要があります。
- ・ 耐震性が無い場合、補強若しくは建替える必要があります。

施策計画

1. 公営住宅等の管理

- ・ 天草市公営住宅等長寿命化計画に基づき、公営住宅の改修事業及び用途廃止等を実施します。

|      | 指標名          | 調査方法 |
|------|--------------|------|
| 成果指標 | 市営住宅等改修進捗率   | 事業実績 |
|      | 市営住宅等用途廃止進捗率 | 事業実績 |

## 2. 建物の耐震化

- ・ 地震ハザードマップの配布による地形や地盤状況の周知を行います。
- ・ 耐震診断・改修・建替えに係る経費の補助を行います。

| 成果指標 | 指標名          | 調査方法 |
|------|--------------|------|
|      | 耐震改修促進事業活用件数 | 事業実績 |

## 3. 空き家対策

- ・ 老朽危険家屋等解体補助を行います。
- ・ 管理不適格家屋所有者への適正管理の通知を行います。
- ・ 移住定住政策との連携による空き家の有効活用を図ります。

| 成果指標 | 指標名                 | 調査方法 |
|------|---------------------|------|
|      | 老朽危険家屋の指導により改善された件数 | 改善実績 |
|      | 老朽危険家屋等解体補助金を利用した件数 | 事業実績 |

### 関連する SDGs ゴールマーク



基本構想

【理念】 やさしさと安心のまち

【ありたい姿】 13. 市民が安心して暮らせる環境ができている

基本計画

政策名 持続可能な上下水道

現状

- ・ 人口減少、節水機器の普及による使用水量が減少しています。
- ・ 物価上昇により維持管理費が増大しています。
- ・ 施設の老朽化により更新時期が到来しています。
- ・ 上下水道ともに地方公営企業会計で合理的な経理を実施しています。
- ・ 過疎化、少子化の進行により料金収入が減少しています。
- ・ ライフラインに影響を及ぼす大規模自然災害が増加しています。
- ・ 地下水や沢水・湧水などを利用している地域があります。

課題

- ・ 事業を維持するため収入の確保が必要です。
- ・ 施設の老朽化及び耐震化に伴う設備投資が必要です。
- ・ 今後増加する施設の更新に伴い、職員の育成と水道技術の継承が必要です。
- ・ 大規模自然災害に備えるため、耐震・耐水化の対策が必要です。
- ・ 施設の老朽化に伴う更新計画の定期的な見直しと適切な実施が必要です。
- ・ 上水道による給水が困難な地域は、水質異常や水不足への対策が必要です。

施策計画

1. 暮らしを守る水道の整備

- ・ 計画的な老朽管布設替えに合わせ耐震化を進めます。
- ・ 災害に強いライフラインの整備を進めます。
- ・ 上水道による給水が困難な地域は、小規模水道施設整備補助事業により暮らしの水を確保します。

| 成果指標 | 指標名       | 調査方法 |
|------|-----------|------|
|      | 水道管路の耐震化率 | 水道統計 |

2. 適正な施設更新の実施

- ・ 施設の老朽化に伴う更新計画に基づき施設の整備を行います。
- ・ 補助金や交付金を活用し、更新財源の確保に努めます。

| 成果指標 | 指標名           | 調査方法      |
|------|---------------|-----------|
|      | 下水道施設の老朽化の改善率 | 対象施設の実施集計 |

部門名：都市基盤整備部門

(作成課：水道局経営管理課・水道課・下水道課・市民環境課)

関連する SDGs ゴールマーク



基本構想

【理念】 やさしさと安心のまち

【ありたい姿】 13. 市民が安心して暮らせる環境ができている

基本計画

政策名 情報化の推進

現 状

- ・ 情報通信環境格差解消のため、ADSL のみの通信環境となっている地域の、光ファイバー整備を行っています。
- ・ 情報通信環境格差解消のため、市で整備した光ファイバーの空き芯貸出しを、通信事業者等へ行っています。
- ・ 天草市コミュニティFMの難聴対策のための整備を行っています。

課 題

- ・ 維持管理費等への懸念から、これまでの情報通信基盤整備の対象から外れた点在する世帯の整備が必要です。
- ・ 情報通信基盤整備がどうしてもできない世帯へ、光ファイバーに代わる手段の整備が必要です。
- ・ これまでの情報通信基盤整備の対象とならなかったケーブルテレビインターネット（同軸）エリアの光ファイバー整備が必要です。
- ・ 整備された情報通信基盤を、地域課題解決のためどのように利活用するのか検討が必要です。
- ・ 天草市コミュニティFMの難聴対策を行ったが、地形によっては電波の受信しにくい地域が未だに存在しています。

施策計画

1. 情報通信環境の整備

- ・ 光ファイバーによるインターネット環境を整備する事業者を支援し、環境の整備を図っていきます。
- ・ 維持管理費等への懸念から整備ができない地域への支援を行います。

|      | 指標名     | 調査方法      |
|------|---------|-----------|
| 成果指標 | 世帯カバー率  | 整備地域世帯数集計 |
|      | 貸出利用事業者 | 貸出数集計     |

## 2. 天草市コミュニティFMの難聴対策

- ・様々な手段での情報取得が容易にできるよう、難聴地域の解消に向け、更なる対策を行います。

| 成果指標 | 指標名  | 調査方法    |
|------|------|---------|
|      | 整備箇所 | 整備箇所数集計 |

### 関連するSDGs ゴールマーク

